

主催：(一社)日本建築学会九州支部
 共催：(公社)日本建築家協会九州支部・沖縄支部 日本建築学会九州支部福岡支所

2019年度第13回「建築九州賞(作品賞)」 選考結果のお知らせ

(一社)日本建築学会九州支部 支部長 尾崎 明仁
 建築九州賞(作品賞)選考部会 会長 福田 展淳

(一社)日本建築学会九州支部では、九州地方における建築水準の発展に寄与し、学会と地域社会の交流を図ることを目的に、(公社)日本建築家協会九州支部ならびに沖縄支部との共催で「建築九州賞(作品賞)」を2007年度に創設し、毎年募集・選考を行っています。

2019年度(第13回)は、各地から83作品(住宅部門35作品、一般建築部門48作品)の応募をいただき、本賞選考部会による厳正な審査の結果、次の5作品に賞を授与することに決定いたしました。表彰式は、日本建築学会九州支部通常総会(2020年5月23日(土))にて行います。

また、受賞作品を含む第1次選考を通過した作品のうち36作品を「九州建築選2019」として広く紹介することとし、本賞記録誌「九州建築選2019」を出版して九州地方の県市町村(建築関係部署)、公立図書館、学校(建築系学科)等、約650箇所へ寄贈します。

2019年度第13回「建築九州賞(作品賞)」 受賞作品及び受賞者

住宅部門 作品賞

父母の家 (鹿児島県奄美市)
 松山将勝(松山建築設計室)

一般建築部門 作品賞

お倉が浜 kids クリニック (宮崎県日向市)
 松山将勝(松山建築設計室)

屋久島町庁舎 (鹿児島県屋久島町)
 三井所清典・大倉靖彦・武田光史・小口亮・靱井玲(アルセッド建築研究所)

長崎県庁舎 (長崎県長崎市)
 山梨知彦・高橋央・平井友介(日建設計)

JIA 特別賞

五ヶ山クロス ベース (福岡県那珂川市)
 平瀬有人(佐賀大学・yHa architects), 平瀬祐子(yHa architects)

※同一賞内の記載順は、九州建築作品発表会(第2次選考会)での発表順とした。

協 賛：	(一社)日本建築構造技術者協会九州支部 (公社)大分県建築士会 (一社)福岡県建設業協会	(一社)日本電設工業協会九州支部 (一社)宮崎県建築士会	(公社)福岡県建築士会 (一社)福岡県建築士事務所協会
後 援：	(公社)日本建築積算協会九州支部 (公社)熊本県建築士会 (一社)長崎県建築士事務所協会 (一社)宮崎県建築士事務所協会 (一社)佐賀県建設業協会 (一社)大分県建設業協会 (一社)沖縄県建設業協会 (一社)宮崎県電業協会	(一社)建築設備技術者協会九州支部 (公社)鹿児島県建築士会 (一社)熊本県建築士事務所協会 (一社)鹿児島県建築士事務所協会 (一社)長崎県建設業協会 (一社)宮崎県建設業協会 (一社)沖縄県設備設計事務所協会	(一社)長崎県建築士会 (公社)沖縄県建築士会 (一社)大分県建築士事務所協会 (一社)沖縄県建築士事務所協会 (一社)熊本県建設業協会 (一社)鹿児島県建設業協会 (一社)福岡電業協会

2019年度 第13回「建築九州賞(作品賞)」受賞作品の概要

住宅部門 作品賞

父母の家 松山将勝 (松山建築設計室)



所在地 鹿児島県奄美市
用途 戸建住宅
竣工年月 2017年3月
建築主 個人
設計者 松山建築設計室
施工者 (有)政建設

<撮影: 石井紀久>

一般建築部門 作品賞

お倉が浜 kids クリニック 松山将勝 (松山建築設計室)



所在地 宮崎県日向市
用途 診療所(小児科), 病児保育室, 薬局
竣工年月 2018年9月
建築主 個人
設計者 松山建築設計室
施工者 (株)協栄

<撮影: 石井紀久>

一般建築部門 作品賞

屋久島町庁舎 三井所清典・大倉靖彦・武田光史・小口亮・靱井玲 (アルセッド建築研究所)



所在地 鹿児島県屋久島町
用途 事務所(庁舎)
竣工年月 2019年3月

建築主 屋久島町
設計者 アルセッド建築研究所
施工者 (株)時吉組, (株)ヒラウチ建設, ヤクデン商事(株), (有)啓南建設

<撮影: 浅田美浩>

一般建築部門 作品賞

長崎県庁舎 山梨知彦・高橋央・平井友介（日建設計）



所在地 長崎県長崎市
用途 県庁舎
竣工年月 2017年12月

建築主 長崎県
設計者 日建設計, 松林建築設計事務所, 池田設計
施工者 鹿島・上滝・堀内特定建設工事共同企業体
堀内・小山・松崎特定建設工事共同企業体

<撮影: 雁光舎 野田東徳>

JIA 特別賞

五ヶ山クロス ベース 平瀬有人（佐賀大学・yHa architects）, 平瀬祐子（yHa architects）



所在地 福岡県那珂川市
用途 店舗・飲食店
竣工年月 2016年7月

建築主 那珂川市
設計者 yHa architects
施工者 小柳技建

<撮影: TakeshiYAMAGISHI>

2019年度第13回「建築九州賞(作品賞)」選考経過について

1. 応募作品

本賞は、過去5年間(2014年4月～2019年3月)に九州地方に建設された建築作品を対象に募集を行い、計83作品(住宅部門35作品、一般建築部門48作品)の応募がありました。(なお、応募者は建築学会員に限定せず、建築作品の設計者・建築主・施工者のいずれかであることとしています。)

2. 選考

(1) **選考体制**： 本賞の選考は、建築九州賞(作品賞)選考部会が行いました。選考部会は総合的な観点から応募作品を評価することを重視し、部会長は常議員会にて九州地方在住の日本建築学会正会員から選出し、また委員は、常議員1名、研究委員会(材料・施工委員会、構造委員会、環境工学委員会、建築計画委員会、都市計画委員会、建築歴史・意匠委員会)から各1名、(公社)日本建築家協会九州支部及び沖縄支部から各1名の計10名で構成しています。

<2019年度作品賞選考部会>

- ・部会長：福田展淳(元常議員)
- ・委員：

淵上貴由樹(常議員)	黒川善幸(材料・施工委員会)	姜 優子(構造委員会)
中大窪千晶(環境工学委員会)	柴田 建(建築計画委員会)	磯田節子(都市計画委員会)
富田英夫(建築歴史・意匠委員会)	西岡 弘(JIA九州支部)	運天 勲(JIA沖縄支部)

(2) **選考基準**： 応募作品について、表彰目的に即した視点(①場所性と環境を反映した建築提案が優れていること、②時代性をふまえた表現力が優れていること、③技術力が優れていること、④地域への貢献および文化度が高いこと)から評価し、本賞の趣旨にふさわしい総合的に優れた作品を作品賞(3作品)に選び、これに加え、特に地域の建築についての独自の視点や新しい意匠並びに技術の提案が評価される作品をJIA特別賞(1作品)に選びました。

(3) **選考過程**： 第1選考、第2次選考、第3次選考を行って表彰作品を決定しました。

- ①第1次選考は、応募書類をもとに選考し、本賞の趣旨に沿う建築提案が明瞭な36作品(住宅部門16作品、一般建築部門20作品)を第2次選考対象作品としました。(選考委員10名出席)
- ②第2次選考は、「九州建築作品発表会(一般公開、於：西日本工業大学小倉キャンパス(北九州市))」での応募者による作品説明及び選考委員との質疑応答をもとに選考し、建築提案の内容や表現が優れた13作品(住宅部門4作品、一般建築部門9作品)を第3次選考対象作品に選出しました。(選考委員9名出席)
- ③第3次選考では、まず、対象作品の現地調査を各作品につき2～3名の選考委員が実施し、作品視察及び応募者・クライアントへのヒアリングを行った上で選考基準に則って調査レポートを作成しました。次に、最終選考会を開き、各作品の調査報告と質疑を行った後に議論し、表彰作品5作品(住宅部門作品賞1作品、一般建築部門作品賞3作品、JIA特別賞1作品)を決定しました。(選考委員10名出席)

<2019年度「作品賞」の募集・選考日程>

- ・2019年4月25日(木)： 募集案内開始
- ・2019年5月7日(火)～6月17日(月)： 応募書類受付期間
- ・2019年6月20日(木)～7月3日(金)： 第1次選考(第2次選考対象36作品を決定)
- ・2019年9月21日(土)： 九州建築作品発表会/第2次選考会(第3次選考対象13作品を決定)
- ・2019年10月27日(日)～12月15日(日)： 第3次選考・現地調査
- ・2020年1月25日(土)： 第3次選考・最終選考会(表彰4作品の決定)
- ・2020年5月23日(土)： 表彰式(支部通常総会)

「九州建築選2019」について

本賞では、九州地方における優れた建築活動を広く伝えるため、応募作品の中から受賞作品を含む第1次選考を通過した作品を「九州建築選」として紹介することとし、記録誌「九州建築選」の出版を毎回行っています。

第13回では、36作品(住宅部門16作品、一般建築部門20作品)を「九州建築選2019」として記録・紹介することとし、受賞5作品を「優秀作品」、他の第3次選考対象8作品を「佳作作品」、その他の第2次選考対象23作品を「奨励作品」に位置づけました。

これらの作品を収録した記録誌「九州建築選2019」を2020年3月に出版し、県市町村役所(建築関係部署)、県市町村立図書館、県立美術館、高校・専門学校・大学(建築系学科)等、約650箇所へ寄贈します。